

事業所名

太陽の子 多賀城

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		わたしたちは、「楽しむ心・謙虚に学ぶ心・想う心・バランスを保つ心」に「おもてなしの心」を添える気持ちを忘れず、「専門知識の向上」に努めると共に新しい共生社会の実現に向けて全世界の中で最も「利用者と家族を大切に想う集団」であることを目指します。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや学びを通じて精神的、身体的機能を最大限に伸ばしていきます。 ・一人ひとりの発達段階に応じた生活習慣を手に入れるお手伝いをします。 ・家庭や学校以外で交流できる場と機会をご提供させていただき、社会生活における基本的なコミュニケーションを含めた知識や機能の習得を目指します。 					
営業時間		11時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。					
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。					
家族支援		子育ての悩み等に対する相談を行う。 家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援する。			移行支援		ご利用者様や保護者様、相談支援事業所と情報共有を行い、卒業後の生活や就労を見通した支援を行う。移行支援会議へ参加し、切れ目のない支援が継続できる体制作りを行う。
地域支援・地域連携		こどもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画の作成又は見直しに関する会議の開催。			職員の質の向上		太陽の子では、より質の高いサービスをご提供するために年14回のカリキュラムを作り、職員の研修を行っています。
主な行事等		外食体験・公共交通機関乗車体験・外部講師オンライン英語教室					